



ひかりのこ

2024年度 **5月号**

日本キリスト教団

名古屋新生教会 子どもの礼拝(CS)

名古屋市西区天神山3-7 TEL.052-531-1820

ホームページ: [名古屋新生教会](#)

春から夏に向けて、いろいろな色が私たちの周りを取りまいています。桜の花も、新緑に変わり、モクレンの白や朱色、ハナミズキの白、紅色、さらにこの時期はツツジ特有の「躑躅色(つつじ色)」。似た色はあってもどれとして同じ色ではないですね。私たちの心も豊かになります。また、五月は「皐月(さつき)」とも記します。「皐」には「水ぎわ」の意味がありますが、漢字としては「白」と、元の字「夨(とう)(すすむの意味)」とから成り立ち、白光が放出する様子から「しろい」の意味もあります。

新年度が始まって1ヶ月、新たに輝ける月でもあります。みなさんは新しい学年、新しいクラスでの生活にまだまだ不安や緊張があるかもしれませんが、私たちの気持ちも新たにして輝いた月を過ごしましょう！きっと新たな出会いがあり、新たな目標が見えてくることでしょう。

今月の礼拝 単元9: イエスの教え②

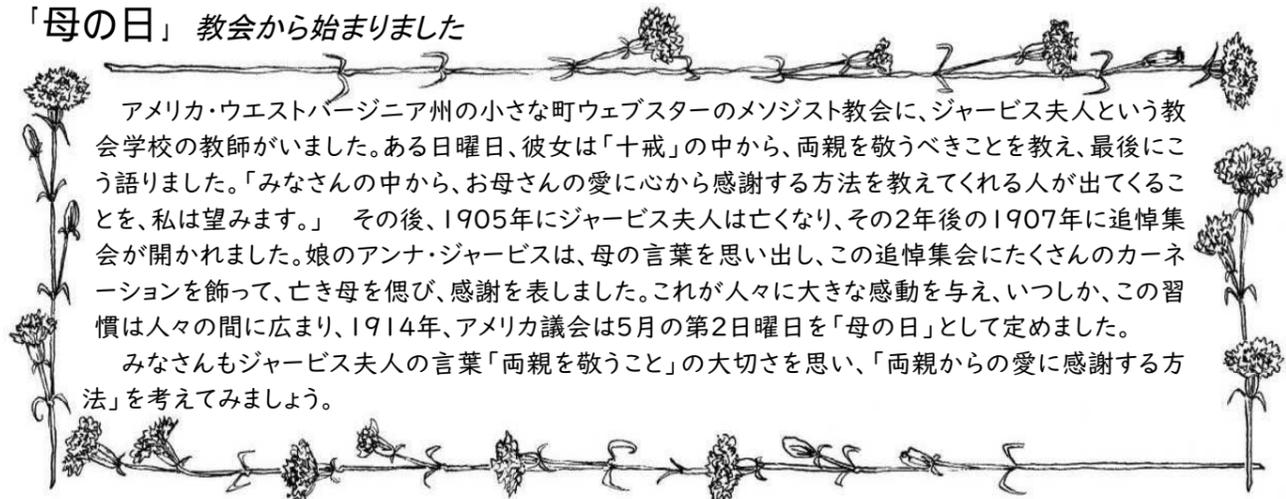
📖…お話 🎵…奏楽

月日	週 題	聖書箇所	ティーンズ礼拝 (小4~中学生) 9:00~9:30	プレイ・タイム (小学生/中学生) 9:35~9:55	こどもれいはい (幼児~小3) 10:00~10:20
5月5日	迷子の羊、 なくした銀貨のたとえ	ルカによる福音書 15:1-10	📖 武岡 基 🎵 武岡路実	母の日に プレゼント作り	📖 武岡路実 🎵 安達いづみ
5月12日 母の日	息子を持つ父のたとえ	ルカによる福音書 15:11-32	📖 武岡路実 🎵 安達いづみ	母の日に プレゼント作り	📖 安達いづみ 🎵 武岡路実
5月19日 ペンテコステ	聖霊降臨	ヨハネ福音書 16:7-13 使徒言行録 2:1-42	📖 安達正樹 牧師 🎵 安達いづみ	ペンテコステ行事	📖 安達正樹 牧師 🎵 安達いづみ

単元10: ヤコブとヨセフ

5月26日	ヤコブとエサウ	創世記 25:19-34、27章	📖 武岡 基 🎵 武岡路実		📖 安達いづみ 🎵
-------	---------	---------------------	------------------	--	--------------

「母の日」教会から始まりました



アメリカ・ウエストバージニア州の小さな町ウェブスターのメソジスト教会に、ジャービス夫人という教会学校の教師がいました。ある日曜日、彼女は「十戒」の中から、両親を敬うべきことを教え、最後にこう語りました。「みなさんの中から、お母さんの愛に心から感謝する方法を教えてください。私には望みます。」その後、1905年にジャービス夫人は亡くなり、その2年後の1907年に追悼集会が開かれました。娘のアンナ・ジャービスは、母の言葉を思い出し、この追悼集会にたくさんのカーネーションを飾って、亡き母を偲び、感謝を表しました。これが人々に大きな感動を与え、いつか、この習慣は人々の間に広まり、1914年、アメリカ議会は5月の第2日曜日を「母の日」として決めました。

みなさんもジャービス夫人の言葉「両親を敬うこと」の大切さを思い、「両親からの愛に感謝する方法」を考えてみましょう。

ペンテコステ(聖霊降臨日) 5月19日

「ペンテコステ」とは「50」という意味です。イースターはイエスさまが復活された日。このイースターから40日目の木曜日が「昇天日」、イエスさまが天に昇られた日です。イースターから50日目の聖日が「ペンテコステ」、イエスさまが天に昇られた後、神さまからの聖霊が私たちに降された日です。この「ペンテコステ」の翌週の日曜日が「三位一体主日」で、「父」である神さま・「子」であるイエスさま・神さまからの「聖霊」、この3つが一体のものであると確信された日です。いずれもイエスさまの十字架から続いている暦です。



今月の聖句 (2024年度教会聖句)

つね しゆ おほ 常に主を覚えてあなたの道を歩け。そうすれば主はあなたの道筋をまっすぐにしてくださる。
みち ある しゆ みちすじ (箴言3:6)

今月のさんびか

こどもさんびか 55 (ちいさいひつじが) 讃美歌21...200



今月の礼拝では、前半は4月に続いてイエスさまの教えとして「たとえ話」から学び、第4週からは旧約聖書『創世記』のヤコブとヨセフの物語に入ります。新約聖書はイエスさまが述べ伝えられた神さまの教え、旧約聖書はイエスさまの時代以前のお話ですので、言い換えるとイエスさまの時代での『聖書』とは旧約聖書でもあります。

今月のさんびか55「ちいさいひつじが」は、礼拝では第1週に学ぶ「迷子の羊」のたとえ話を童話化した賛美歌です。古くからこどもの賛美歌として歌われてきました。

作詞者のアルバート・ミッドレーンさん(1825-1909)は、イギリス本土(グレートブリテン島)の南に位置するワイト島に生まれ、金物商として生計を立てていました。1842年以来、彼は800編以上の賛美歌を書き、日曜学校、リバイバル(信仰復興運動・福音主義運動)、伝道集会などで大いに歌われました。

作曲者はサルヴァトーレ・フェレッティさん(1817-74)です。イタリア出身ですが、長くロンドンに住み、雑誌の編集者をされていました。彼は晩年にイタリアのフローレンス地方へ戻り、プロテスタントの孤児院(児童養護施設)を設立しました。この曲は1850年にロンドンで出版された歌集に掲載されたものをもとに、ロンドンにあるウェストミンスター聖堂のオルガニストを務め、賛美歌集の編集・出版をされていたジェームズ・タールさん(1802-82)が旋律を補足して1867年に出版されたものが現在の形です。

この賛美歌は、日本では『日曜学校讃美歌』の改訂増補版(1928)に収められ、さらに1950年の『日曜学校讃美歌』復刻版で、当時としては珍しく口語文の歌詞に手直しされて収録されました。大正、昭和の時代に一世を風靡した音楽評論家の堀内敬三さん(1897-1983)による名訳です。

この曲は基本的なAABAの形に整えられていますのでとても歌いやすい賛美歌です。物語を朗読するように歌ってみてください。Bのところは転句が置かれていて、それに伴う曲の発展があり、最後のAで羊を表すように結ばれています。伴奏譜を見ると、第4句のAには1、2句と違った和声づけをして終止を印象づけています。日本でも100年近くの長きにわたって愛されてきたこの賛美歌ですので、子どもからお年寄りまで一緒に歌うことができます。そして、これからも歌い継がれていくことでしょう。

おたんじょうびおめでとう

5月生まれのお友だち

「子どもの礼拝(CS)」ってなあに?

幼児から小学生、中学生のみなさんへの礼拝や教会プログラムを、多くの教会では「教会学校」と称しています。これは欧米から伝わった「Church School (CS)」を訳した言葉です。名古屋新生教会では、教会は、普段通っている学校とは違う、みなさんにとって“自分の居場所・神さまとの出会いの場”であってほしい、それは小学校に入る前の保育園・幼稚園に通っている子どもたちにとっても同じであってほしい、との思いから、「子どもの礼拝」(Children's Service: CS)と呼んでいます。

礼拝では聖書(神さまの言葉)を子ども向けにわかりやすくお話します。「ティーンズ礼拝」「こどもれいはい」それぞれ対象年齢を示していますが、どちらに出席されても構いません。

礼拝後のプレイタイム(分級)では学校とは違った自由な雰囲気です。楽しい時間を過ごします。「プレイ」…遊びとしての play、お互いに思っていることや悩み、課題を分かち合って祈る pray、そんな時間になればと考えています。普段は礼拝に出席していない人でも、行事だけ参加するのも大歓迎です。

名古屋新生教会は人数も少なく、家庭的であったかい教会です。いつからでも、誰でも、大歓迎します。